

財務諸表等

平成25年度
(第10期事業年度)

自：平成25年 4月 1日
至：平成26年 3月 31日

独立行政法人 国立病院機構

目 次

1. 貸借対照表	1
2. 損益計算書	3
3. キャッシュ・フロー計算書	7
4. 利益の処分に関する書類	9
5. 行政サービス実施コスト計算書	10
6. 注記事項	11
7. 附属明細書	19
(1) 固定資産の取得、処分、減価償却費（「第87特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第91資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）及び減損損失累計額の明細	
(2) たな卸資産の明細	
(3) 有価証券の明細	
(4) 長期貸付金の明細	
(5) 長期借入金の明細	
(6) 引当金の明細	
(7) 貸付金等に対する貸倒引当金の明細	
(8) 退職給付引当金の明細	
(9) 資産除去債務の明細	
(10) 資本金及び資本剰余金の明細	
(11) 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細	
(12) 運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細	
(13) 役員及び職員の給与の明細	
(14) 開示すべきセグメント情報	
(15) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細	
8. 添付資料	
(1) 決算報告書	27
(2) 監事の意見	29
(3) 会計監査人の意見	31
(4) 施設別財務書類	(別冊1)
(5) 事業報告書	(別冊2)

財 務 諸 表

貸借対照表
(平成26年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額	
資産の部		
I 流動資産		
現金及び預金		94,388,505,601
有価証券		38,300,000,000
医業未収金	145,212,841,846	
貸倒引当金	△ 564,911,044	
		144,647,930,802
未収金		5,654,927,259
医薬品		4,434,210,858
診療材料		1,637,832,996
給食用材料		173,962,599
貯蔵品		637,570,766
前払費用		167,073,562
未収収益		671,613
その他流動資産		360,303,307
流動資産合計		290,402,989,363
II 固定資産		
1 有形固定資産		
建物	664,776,299,051	
減価償却累計額	△ 242,183,077,957	
減損損失累計額	△ 8,622,996,208	
		413,970,224,886
構築物	30,019,069,165	
減価償却累計額	△ 13,360,938,122	
減損損失累計額	△ 406,677,271	
		16,251,453,772
医療用器械備品	220,257,346,035	
減価償却累計額	△ 136,725,914,795	
減損損失累計額	△ 96,229,720	
		83,435,201,520
その他器械備品	51,223,035,160	
減価償却累計額	△ 31,387,164,394	
減損損失累計額	△ 39,467,620	
		19,796,403,146
車両	1,137,334,883	
減価償却累計額	△ 686,912,168	
減損損失累計額	△ 207,828	
		450,214,887
放射性同位元素	52,095,452	
減価償却累計額	△ 21,748,532	
		30,346,920
土地	474,887,054,193	
減損損失累計額	△ 6,211,339,949	
		468,675,714,244
建設仮勘定		5,699,235,288
その他有形固定資産		64,375,000
有形固定資産合計		1,008,373,169,663
2 無形固定資産		
特許権		16
借地権		6,450,000
ソフトウェア		17,907,068,924
電話加入権		201,854,326
その他無形固定資産		639,297,282
無形固定資産合計		18,754,670,548
3 投資その他の資産		
長期定期預金		500,000,000
長期貸付金		1,709,750,000
破産更生債権等	2,085,092,598	
貸倒引当金	△ 2,085,092,598	
		0
長期前払費用		156,285,481
災害備蓄在庫		131,645,522
その他投資資産		32,771,300
投資その他の資産合計		2,530,452,303
固定資産合計		1,029,658,292,514
資産合計		1,320,061,281,877

科 目	金 額		額
負債の部			
I 流動負債			
預り補助金等		874,277,348	
預り寄附金		1,179,362,057	
一年以内返済長期借入金		37,932,312,546	
買掛金		33,833,989,410	
未払金		83,746,255,048	
一年以内支払リース債務		7,295,237,162	
未払費用		771,951,417	
未払消費税等		184,495,300	
預り金		3,343,473,131	
前受収益		26,454,376	
引当金			
賞与引当金	25,316,550,120		
損害補償損失引当金	1,214,078,771	26,530,628,891	
一年以内履行資産除去債務		6,018,600	
その他流動負債		1,722,893,941	
流動負債合計			197,447,349,227
II 固定負債			
資産見返負債			
資産見返運営費交付金	1,501,293,741		
資産見返補助金等	11,045,065,220		
資産見返寄附金	1,846,631,687		
資産見返物品受贈額	16,458,055	14,409,448,703	
長期借入金		391,510,896,886	
長期未払金		473,808,802	
引当金			
退職給付引当金		273,196,771,598	
リース債務		9,271,060,623	
資産除去債務		405,587,854	
その他固定負債		521,693,537	
固定負債合計			689,789,268,003
負債合計			887,236,617,230
純資産の部			
I 資本金			
政府出資金		208,174,739,674	
資本金合計			208,174,739,674
II 資本剰余金			
資本剰余金		225,930,814,303	
損益外減価償却累計額(－)		△ 3,081,408,968	
損益外減損損失累計額(－)		△ 16,205,031	
資本剰余金合計			222,833,200,304
III 利益剰余金			
当期末処分利益		1,816,724,669	
(うち当期総利益)	(2,053,838,731)	
利益剰余金合計			1,816,724,669
純資産合計			432,824,664,647
負債純資産合計			1,320,061,281,877

損益計算書
(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額	
経常収益		
I 診療業務収益		
医業収益		
入院診療収益	700,234,776,584	
室料差額収益	11,421,344,800	
外来診療収益	160,700,736,546	
保健予防活動収益	3,576,785,548	
その他医業収益	4,896,792,162	
保険等査定減(一)	△ 2,767,837,440	
運営費交付金収益		
資産見返運営費交付金戻入		505,833,031
補助金等収益		
補助金等収益	1,913,817,152	
資産見返補助金等戻入	1,477,470,001	
寄附金収益		
寄附金収益		255,878,374
資産見返物品受贈額戻入		2,095,280
その他診療業務収益		5,202,767,865
診療業務収益合計		887,420,459,903
II 教育研修業務収益		
看護師等養成所収益		4,299,510,828
研修収益		120,738,712
運営費交付金収益		
運営費交付金収益		635,868,570
補助金等収益		
補助金等収益	27,096,805	
資産見返補助金等戻入	11,202,135	
寄附金収益		
寄附金収益		388,330
その他教育研修業務収益		22,865,969
教育研修業務収益合計		5,117,671,349
III 臨床研究業務収益		
研究収益		6,761,665,142
運営費交付金収益		
運営費交付金収益	2,940,643,838	
資産見返運営費交付金戻入	238,857,077	
補助金等収益		
補助金等収益	259,346,070	
資産見返補助金等戻入	8,722,287	
寄附金収益		
寄附金収益	426,563,721	
資産見返寄附金戻入	12,878,688	
その他臨床研究業務収益		29,561,497
臨床研究業務収益合計		10,678,238,320
IV その他経常収益		
財務収益		
受取利息		157,633,891
土地建物等貸付料収入		945,558,726
宿舍貸付料収入		856,932,993
運営費交付金収益		
運営費交付金収益		19,441,397,353
補助金等収益		
補助金等収益		10,352,507
寄附金収益		
寄附金収益		32,800,000
その他経常収益		1,381,907,164
その他経常収益合計		22,826,582,634
経常収益合計		926,042,952,206

科 目	金 額		
経常費用			
I 診療業務費			
給与費			
給料	308,610,608,138		
賞与	51,588,485,886		
賞与引当金繰入額	21,801,419,101		
退職給付費用	42,547,863,006		
法定福利費	19,912,993,323	444,461,369,454	
材料費			
医薬品費	124,556,423,021		
診療材料費	72,795,852,170		
医療消耗器具備品費	5,478,164,633		
給食用材料費	10,525,892,019	213,356,331,843	
委託費			
検査委託費	5,817,977,470		
給食委託費	6,849,994,202		
寝具委託費	1,350,556,241		
医事委託費	9,361,610,809		
清掃委託費	3,157,397,125		
保守委託費	3,957,499,257		
その他の委託費	11,532,199,990	42,027,235,094	
設備関係費			
減価償却費	62,354,361,581		
修繕費	8,424,602,465		
器機賃借料	10,534,149,620		
地代家賃	373,102,868		
固定資産税等	312,111,455		
器機保守料	12,326,542,400		
器機設備保険料	222,540		
車両関係費	106,506,784		
PFI費用	3,605,742	94,435,205,455	
研究研修費			
経費			
福利厚生費	331,548,150		
旅費交通費	1,638,257,872		
通信費	1,170,581,868		
消耗品費	6,803,820,928		
消耗器具備品費	4,384,731,853		
水道光熱費	21,133,514,591		
患者諸費	1,137,066,012		
租税公課	931,550,629		
医業貸倒損失	4,181,028		
貸倒引当金繰入額	209,145,994		
低価法評価損	6,650,193		
その他	3,235,396,214	40,986,445,332	
診療業務費合計			835,656,936,368
II 教育研修業務費			
看護師等養成所運営費			
給与費			
給料	3,038,895,542		
賞与	569,820,203		
賞与引当金繰入額	240,006,309		
退職給付費用	441,028,531		
法定福利費	193,134,170	4,482,884,755	
経費			
福利厚生費	1,706,494		
臨床実習協力費	74,621,141		
旅費交通費	73,234,101		
通信費	31,751,805		
消耗品費	160,001,314		
消耗器具備品費	121,076,037		

科 目	金 額	
生徒関連諸費	183,132,875	
水道光熱費	281,119,489	
減価償却費	1,096,921,324	
その他	404,508,818	2,428,073,398
研修活動費		
給与費		
給料	100,570,722	
賞与	21,583,385	
賞与引当金繰入額	7,668,432	
退職給付費用	7,555,906	
法定福利費	6,072,544	143,450,989
経費		
福利厚生費	81,629	
旅費交通費	257,099,797	
通信費	7,957,854	
消耗品費	25,611,014	
消耗器具備品費	17,108,457	
水道光熱費	71,245,219	
減価償却費	258,836,110	
その他	137,907,607	775,847,687
教育研修業務費合計		7,830,256,829
III 臨床研究業務費		
給与費		
給料	4,677,218,171	
賞与	797,950,981	
賞与引当金繰入額	334,452,590	
退職給付費用	422,382,237	
法定福利費	377,097,237	6,609,101,216
材料費		
医薬品費	608,748,348	
研究材料費	155,131,321	
研究用消耗器具備品費	207,701,064	971,580,733
経費		
福利厚生費	1,808,403	
旅費交通費	752,315,552	
通信費	75,876,391	
消耗品費	548,791,708	
消耗器具備品費	849,169,962	
水道光熱費	206,531,240	
委託費	864,132,664	
減価償却費	653,235,813	
その他	865,563,251	4,817,424,984
臨床研究業務費合計		12,398,106,933
IV 一般管理費		
給与費		
給料	1,466,326,371	
役員報酬	63,348,976	
賞与	281,101,494	
賞与引当金繰入額	135,042,342	
退職給付費用	25,101,926,247	
法定福利費	161,140,868	27,208,886,298
経費		
福利厚生費	6,625,534	
旅費交通費	93,869,969	
通信費	24,254,206	
消耗品費	53,951,277	
消耗器具備品費	83,510,394	
水道光熱費	22,106,645	
賃借料	15,528,977	

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額	
租税公課	35,572,173	
減価償却費	82,787,431	
その他	174,785,869	592,992,475
一般管理費合計		27,801,878,773
V その他経常費用		
財務費用		
支払利息	7,939,862,137	
支払手数料	283,026,799	8,222,888,936
その他経常費用		2,453,030,758
その他経常費用合計		10,675,919,694
経常費用合計		894,363,098,597
経常利益		31,679,853,609
臨時利益		
固定資産売却益		55,843,476
その他臨時利益		349,210,686
		405,054,162
臨時損失		
固定資産売却損		960,189
固定資産除却損		3,948,024,179
固定資産減損損失		6,877,463,891
損害補償損失引当金繰入額		871,518,755
賠償金等負担額		178,695,038
その他臨時損失		18,154,406,988
		30,031,069,040
当期純利益		2,053,838,731
当期総利益		2,053,838,731

キャッシュ・フロー計算書
(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
診療業務活動によるキャッシュ・フロー	
医業収入	875,402,091,284
補助金等収入	5,431,796,026
補助金等の精算による返還金の支出	△ 19,794,293
寄附金収入	89,260,457
その他の収入	5,058,904,684
人件費支出	△ 426,578,386,343
材料の購入による支出	△ 212,357,890,977
その他の業務支出	△ 112,402,907,194
小計	134,623,073,644
教育研修業務活動によるキャッシュ・フロー	
看護師等養成による収入	4,295,881,828
研修による収入	155,261,889
運営費交付金収入	635,868,570
補助金等収入	57,041,411
補助金等の精算による返還金の支出	△ 27,000
寄附金収入	338,330
その他の収入	18,864,395
人件費支出	△ 4,440,275,974
その他の業務支出	△ 1,871,027,970
小計	△ 1,148,074,521
臨床研究業務活動によるキャッシュ・フロー	
研究による収入	5,303,311,192
運営費交付金収入	3,064,818,077
補助金等収入	3,691,000
寄附金収入	514,542,877
その他の収入	30,057,306
人件費支出	△ 6,411,125,128
材料の購入による支出	△ 868,349,146
その他の業務支出	△ 4,070,493,553
小計	△ 2,433,547,375
その他の業務活動によるキャッシュ・フロー	
運営費交付金収入	19,257,597,353
補助金等収入	13,101,602
補助金等の精算による返還金の支出	△ 2,028,000
寄附金収入	3,800,000
その他の収入	3,628,335,720
人件費支出	△ 48,392,870,254
その他の業務支出	△ 9,538,485,198
小計	△ 35,030,548,777
利息の受取額	174,576,921
利息の支払額	△ 8,064,521,251
業務活動によるキャッシュ・フロー	88,120,958,641
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の戻入による収入	21,400,000,000
定期預金の預入による支出	△ 45,600,000,000
有価証券の売却による収入	364,600,000,000
有価証券の取得による支出	△ 266,800,000,000
有形固定資産の売却による収入	1,029,966,104
有形固定資産の取得による支出	△ 93,322,078,172
無形固定資産の取得による支出	△ 6,576,850,526

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額
施設費による収入	158,938,450
施設費の精算による返還金の支出	△ 427,932,000
資産除去債務の履行による支出	△ 13,888,447
貸付金の回収による収入	109,635,000
貸付金による支出	△ 966,110,000
その他の投資活動による収入	1,805,000
その他の投資活動による支出	△ 2,576,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 26,409,090,591</u>
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	11,600,000,000
長期借入金の返済による支出	△ 40,020,942,656
リース債務償還による支出	△ 8,292,895,873
PFI債務償還による支出	△ 47,228,362
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 36,761,066,891</u>
IV 資金増加額	24,950,801,159
V 資金期首残高	<u>33,237,704,442</u>
VI 資金期末残高	<u><u>58,188,505,601</u></u>

利益の処分に関する書類
(平成26年6月30日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額	
I 当期末処分利益		1,816,724,669
当期総利益	2,053,838,731	
前期繰越欠損金	△237,114,062	
II 利益処分額		
積立金	<u>1,816,724,669</u>	<u>1,816,724,669</u>

(注) 当期の利益処分後の積立金額 1,816,724,669円のうち、独立行政法人国立病院機構法（平成14年法律第191号）第15条第1項に規定する厚生労働大臣の承認を受けた金額は 255,427,540円です。

行政サービス実施コスト計算書
(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額	
I 業務費用		
(1) 損益計算書上の費用		
診療業務費	835,656,936,368	
教育研修業務費	7,830,256,829	
臨床研究業務費	12,398,106,933	
一般管理費	27,801,878,773	
その他経常費用	10,675,919,694	
臨時損失	30,031,069,040	924,394,167,637
(2) (控除) 自己収入等		
診療業務収益	△883,521,244,439	
教育研修業務収益	△4,443,503,839	
臨床研究業務収益	△7,007,609,903	
その他経常収益	△3,374,832,774	
臨時利益	△405,054,162	△898,752,245,117
業務費用合計		25,641,922,520
II 損益外減価償却相当額		△ 15,151,016,797
III 損益外減損損失相当額		△ 699,713,333
IV 損益外除売却差額相当額		330,097,455
V 機会費用		
国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	47,349,068	
政府出資又は地方公共団体出資等の機会費用	2,710,043,278	2,757,392,346
VI 行政サービス実施コスト		12,878,682,191

- (注) 1. II 損益外減価償却相当額は、当期償却額から87特定資産の指定解除による影響額 (△15,647,069,937円) を控除して算定しております。
2. III 損益外減損損失相当額は、当期減損額から87特定資産の指定解除による影響額 (△699,713,333円) を控除して算定しております。

注 記 事 項

I. 重要な会計方針

1. 運営費交付金収益の計上基準

業務達成基準を採用しております。

2. 減価償却の会計処理方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。

建 物	2	～	47年
構築物	2	～	68年
医療用器械備品	2	～	20年
その他器械備品	2	～	20年
車 両	2	～	6年
放射性同位元素	2	～	23年

また、特定の償却資産（独立行政法人会計基準第87）の減価償却相当額については、損益外減価償却累計額として資本剰余金から控除して表示しております。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、法人内利用ソフトウェアについては、法人内における利用可能期間（5年）に基づいております。

3. 退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準

役職員の退職給付に備えるため、役員については独立行政法人国立病院機構役員退職手当規程に基づく期末要支給額を、また、職員については当該事業年度末における退職給付債務及び恩給制度期間を有する退職職員の負担金である整理資源に関する債務を計上しております。

ただし、独立行政法人化前に発生した役職員の退職給付のうち、運営費交付金により財源措置がなされる額については、退職給付に係る引当金は計上しておりません。

なお、「被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律」（平成24年法律第63号）が、平成24年8月22日に公布されたことにより、当法人が負担する退職共済年金に係る整理資源負担金は、将来減額されることが見込まれます。

しかしながら、整理資源に係る退職給付債務については、「独立行政法人会計基準」及び「独立行政法人会計基準注解」並びに「「独立行政法人会計基準」及び「独立行政法人会計基準注解」に関するQ&A」に基づき、5年に1度の財政再計算の際に見積もられた額を基礎として計算しているため、整理資源に係る退職給付引当金には、当該減額の影響が反映されておりません。

4. 貸倒引当金の計上基準

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

5. 賞与引当金の計上基準

役員に対して支給する業績年俸及び職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

6. 損害補償損失引当金の計上基準

医療賠償等による損害賠償金の支払に備えるため、個別に発生可能性を検討し、その経過等の状況に基づき損失負担見込額を計上しております。

7. 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券については、償却原価法によっております。

8. たな卸資産の評価基準及び評価方法

(1) 医薬品

最終仕入原価法に基づく低価法

(2) 診療材料

最終仕入原価法に基づく低価法

(3) 給食用材料

最終仕入原価法に基づく低価法

(4) 貯蔵品

金券類は個別法、その他は最終仕入原価法に基づく低価法

9. 債券発行差額の償却方法

債券発行差額は、債券の償還期間にわたって定額法により償却しております。

10. 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

(1) 国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法

近隣の地代や賃貸料等を参考に計算しております。

(2) 政府出資又は地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の平成26年3月末利回りを参考に0.640%で計算しております。

(3) 政府又は地方公共団体からの無利子又は通常よりも有利な条件による融資取引の機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の平成26年3月末利回りを参考に0.640%で計算しております。

1 1. リース取引の処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

1 2. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

1 3. 固定資産の減損の処理方法

固定資産の減損に係る会計基準（「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成14年8月9日））および「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第6号 平成15年10月31日）を適用しております。

また、独立行政法人国立病院機構の業務運営並びに財務及び会計に関する省令（平成16年厚生労働省令第77号）により、減価に対応すべき収益の獲得が予定されていないと認められる償却資産については、固定資産減損損失は計上せず、資産の減損額と同額を資本剰余金に対する控除として計上しております。

1 4. 特定の償却資産にかかる減価償却及び減損損失の会計処理

特定の償却資産（独立行政法人会計基準第87）について、「「独立行政法人国立病院機構の業務運営並びに財務及び会計に関する省令第9条に基づき厚生労働大臣が指定する償却資産について」（平成16年4月1日付厚生労働省発医政第0401014号厚生労働大臣通知）の改正について」（平成26年3月18日厚生労働省発医政0318第2号）及び「「独立行政法人国立病院機構の業務運営並びに財務及び会計に関する省令第9条に基づき厚生労働大臣が指定する償却資産について」（平成16年10月12日厚生労働省発医政第1012008号厚生労働大臣通知）の一部改正について」（平成26年3月18日厚生労働省発医政0318第3号）により、当該資産の対象範囲が見直され、心身喪失者等医療観察法に基づく医療の提供のために国から承継した固定資産及び心身喪失者等医療観察法指定入院医療機関施設整備負担金を財源とした固定資産を除き、特定の償却資産の対象から外れました。

これにより、従来資本剰余金から控除していた損益外減価償却累計額及び損益外減損損失累計額のうち指定解除を受けた資産にかかる前年度末の損益外減価償却累計額15,647,069,937円及び損益外減損損失累計額699,713,333円を当年度に臨時損失として計上しております。

II. 貸借対照表

1. 運営費交付金から充当されるべき退職一時金に係る退職給付引当金の見積額
90,654,376,212円

2. 運営費交付金から充当されるべき退職共済年金に係る恩給負担金の見積額
196,434,000円

3. 金融商品関係

(1) 金融商品の状況に関する事項

当機構は、資金運用については預金及び公債に限定し、また、資金調達については財政融資資金からの借入及び財投機関債の発行によっております。

診療報酬債権に係る回収リスクは、収入管理事務要領等に沿ってリスク低減を図っております。また、投資有価証券は、独立行政法人通則法第47条の規定等に基づき、公債のみを保有しており株式等は保有しておりません。

借入金等の使途は事業投資資金であり、主務大臣により認可された資金計画に沿って、資金調達を行っております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

区 分	貸借対照表 計上額	時 価	差 額
(1)現金及び預金	94,388	94,388	—
(2)有価証券	38,300	38,300	—
譲渡性預金	38,300	38,300	—
(3)医業未収金	145,212	145,212	—
(4)買掛金	(33,833)	(33,833)	—
(5)未払金	(83,746)	(83,746)	—
(6)長期借入金	(429,443)	(446,232)	(16,789)
(7)リース債務	(16,566)	(16,535)	(△31)

(注1) 負債に計上されているものは () で示しております。

(注2) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券等に関する事項

(1) 現金及び預金、(3) 医業未収金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 有価証券

譲渡性預金については、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額に等しいことから、帳簿価額によっております。

(4) 買掛金、(5) 未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額に等しいことから、帳簿価額によっております。

(6) 長期借入金、(7) リース債務

これらの時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

なお、リース債務の貸借対照表計上額は利子を含んでおります。

Ⅲ. 損益計算書

1. 国又は地方公共団体からの受託による収益の科目別内訳

① その他診療業務収益	474,520,492円
② 研修収益	40,732,000円
③ 研究収益	14,953,470円
合 計	<u>530,205,962円</u>

2. 受取利息の内訳

① 受取利息	13,481,252円
② 有価証券利息	144,152,639円
合 計	<u>157,633,891円</u>

3. 固定資産売却益の内訳

① 建 物	40,214,998円
② 医療用器械備品	14,118,866円
③ その他器械備品	67,698円
④ 車 両	1,441,914円
合 計	<u>55,843,476円</u>

4. 固定資産売却損の内訳

① 土 地	680,001円
② 医療用器械備品	280,188円
合 計	<u>960,189円</u>

5. 固定資産減損損失

(1) 減損損失の金額及び内訳

(単位：円)

用 途	場 所	減 損 損 失			
		建 物	土 地	その他	計
遊休資産 (病棟等)	岩手県花巻市 諏訪500 外31箇所	3,364,659,178	3,303,286,809	209,517,904	6,877,463,891

(2) 減損損失の認識に至った経緯

上記遊休資産については、将来の使用が見込まれておらず、回収可能価額が帳簿価額を下回っているため減損損失を認識しました。

(3) 資産のグルーピングの方法

当機構は、機構全体が一体となって政策医療を担っていることから、全体で一つの資産グループとしております。ただし、将来の使用が見込まれていない遊休資産及び事業の大幅な縮小や廃止に関する意思決定済みの資産については、それぞれ個別にグルーピングしております。

(4) 回収可能価額の算定方法

回収可能価額は、主として不動産鑑定評価額に基づく正味売却価額により算定しております。

6. その他臨時損失の内訳

① 特定の償却資産の対象範囲の変更による振替額	16,346,783,270円
② 工事関係費用（土壌汚染関係処理、廃棄物処理等）	435,514,575円
③ 災害損失費用（東日本大震災等、災害復旧）	362,612,466円
④ その他	1,009,496,677円
合計	<u>18,154,406,988円</u>

IV. キャッシュ・フロー計算書

1. 資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	94,388,505,601円
現金及び預金勘定のうち定期預金	<u>36,200,000,000円</u>
資金期末残高	<u>58,188,505,601円</u>

2. 重要な非資金取引

ファイナンス・リースによる資産の取得	2,827,812,813円
--------------------	----------------

V. 退職給付引当金

1. 退職給付債務に関する事項

区 分	平成26年3月31日現在
退職給付債務 (A)	△144,006,340,233 円
未認識過去勤務債務 (注) (B)	△16,821,055,502 円
未認識数理計算上の差異 (C)	1,484,236,092 円
整理資源負担金 (D)	△113,853,611,955 円
退職給付引当金 (E) = (A) + (B) + (C) + (D)	△273,196,771,598 円

(注) 平成18年8月1日から国家公務員退職手当法の一部を改正する法律（平成17年法律第115号）及び平成25年1月1日から国家公務員退職手当法等の一部を改正する法律（平成24年法律第96号）の適用を受けたため、過去勤務債務が発生しております。

2. 退職給付費用に関する事項

区 分	平成26年3月31日現在
勤務費用	18,058,187,557 円
利息費用	1,178,285,661 円
過去勤務債務の費用処理額	△1,744,380,513 円
数理計算上の差異の費用処理額	△266,995,830 円
運営費交付金で財源措置された費用	11,805,091,196 円
退職給付費用	29,030,188,071 円

(注) 上記退職給付費用以外に共済組合負担金、長期公経済負担金等の退職給付費用として、39,490,567,856円を計上しております。

3. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

区 分	平成26年3月31日現在
割引率	0.5%
退職給付見込額の期間配分方法	期間定額基準
過去勤務債務の処理年数	発生事業年度から10年間
数理計算上の差異の処理年数	発生の翌事業年度から9～10年間

VI. 資産除去債務関係

1. 資産除去債務の概要

当機構は労働安全衛生法等の規定により生ずる債務として、所有する建物の解体時におけるアスベストの除去費用、医療用器械備品等の廃棄時における放射性同位元素及び放射化物の除去費用、及び照明装置の廃棄時におけるポリ塩化ビフェニルの除去費用につき資産除去債務を計上しております。

2. 資産除去債務の金額の算定方法

資産除去債務の見積もりにあたり、取得時からの使用見込期間を有形固定資産の耐用年数を参考に2年から41年と見積もっております。割引率は当該期間を勘案し、使用見込期間に見合う財政投融资及び国債の利回りを参考に算定しており、0.085%から2.085%となっております。

3. 当事業年度における資産除去債務の総額の増減

期首残高	422,179,519 円
有形固定資産の取得等に伴う増加額	4,811,260 円
時の経過による調整額	1,936,593 円
資産の除去等による履行額	17,320,918 円
期末残高	411,606,454 円

VII. 不要財産に係る国庫納付関係

該当事項はありません。

VIII. オペレーティング・リース取引

1. 貸借対照表日後一年以内のリース期間に係る未経過リース料 113,717,909円
2. 貸借対照表日後一年を超えるリース期間に係る未経過リース料 139,592,599円

IX. 重要な債務負担行為

該当事項はありません。

X. 重要な後発事象

該当事項はありません。

XI. その他独立行政法人の状況を適切に開示するために必要な会計情報

該当事項はありません。

財 務 諸 表
(附 屬 明 細 書)

1. 固定資産の取得、処分、減価償却費(「第87 特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第91 資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)及び減損損失累計額の明細

(単位:円)

資産の種類	期首 残高	当期 増加額	当期 減少額	期末 残高	減価償却累計額		減損損失累計額		差引当期 末残高	摘要
					当期	累計	当期	累計		
建物	549,838,102,307	111,844,131,115	6,914,183,350	654,768,050,072	239,540,396,739	25,543,701,750	8,607,901,954	3,364,659,178	406,619,751,379	注1
構築物	25,466,487,734	3,849,374,591	276,504,924	29,039,357,401	12,922,210,372	1,330,868,813	405,566,494	159,987,204	15,711,580,535	注1
有形固定 資産(償却 費損益内)	193,291,570,674	34,381,444,044	7,415,668,683	220,227,346,035	136,725,914,795	22,534,529,352	96,229,720	15,316,584	83,435,201,520	
医療用器械備品	48,581,845,272	6,334,984,982	3,693,795,094	51,227,035,160	31,387,164,394	7,221,193,351	39,467,620	390,938	19,796,403,146	
車両	990,239,705	171,657,175	24,561,997	1,137,334,883	686,912,168	121,775,220	207,828	0	450,214,887	
放射線同位元素	52,095,452	0	0	52,095,452	21,748,532	3,089,954	0	0	30,346,920	
計	818,220,341,144	156,581,591,907	18,324,714,048	986,477,219,003	421,284,347,000	56,755,158,440	9,149,373,616	3,540,353,904	526,043,498,387	
建物	61,811,629,261	0	51,803,380,282	10,008,248,979	2,642,681,218	419,786,529	15,094,254	0	7,350,473,507	注2
構築物	2,221,721,582	0	1,242,009,818	979,711,764	438,727,750	76,266,611	1,110,777	0	539,873,237	注2
計	64,033,350,843	0	53,045,390,100	10,987,960,743	3,081,408,968	496,053,140	16,205,031	0	7,890,346,744	
土地	474,474,439,162	1,444,697,382	1,032,082,351	474,887,054,193	—	—	6,211,339,949	3,303,286,809	468,675,714,244	
建設仮勘定	8,323,830,074	9,145,717,252	11,770,312,038	5,699,235,288	—	—	—	32,239,200	5,699,235,288	
その他有形固定資産	63,703,000	672,000	0	64,375,000	—	—	0	0	64,375,000	
建物	482,861,972,236	10,591,086,634	12,802,394,389	480,650,664,481	—	—	6,211,339,949	3,335,526,009	474,439,324,532	
構築物	611,649,731,568	111,844,131,115	58,717,563,632	664,776,299,051	242,183,077,957	25,963,488,279	8,622,996,208	3,364,659,178	413,970,224,886	
構築物	27,688,209,316	3,849,374,591	1,518,514,742	30,019,069,165	13,360,938,122	1,407,135,424	406,677,271	159,987,204	16,251,453,772	
医療用器械備品	193,291,570,674	34,381,444,044	7,415,668,683	220,227,346,035	136,725,914,795	22,534,529,352	96,229,720	15,316,584	83,435,201,520	
その他器械備品	48,581,845,272	6,334,984,982	3,693,795,094	51,227,035,160	31,387,164,394	7,221,193,351	39,467,620	390,938	19,796,403,146	
車両	990,239,705	171,657,175	24,561,997	1,137,334,883	686,912,168	121,775,220	207,828	0	450,214,887	
放射線同位元素	52,095,452	0	0	52,095,452	21,748,532	3,089,954	0	0	30,346,920	
土地	474,474,439,162	1,444,697,382	1,032,082,351	474,887,054,193	—	—	6,211,339,949	3,303,286,809	468,675,714,244	
建設仮勘定	8,323,830,074	9,145,717,252	11,770,312,038	5,699,235,288	—	—	—	32,239,200	5,699,235,288	
その他有形固定資産	63,703,000	672,000	0	64,375,000	—	—	0	0	64,375,000	
計	1,365,115,664,223	167,172,678,541	84,172,498,537	1,448,115,844,227	424,365,755,968	57,251,211,580	15,376,918,596	6,875,879,913	1,008,373,169,663	
特許権	10	6	0	16	—	—	0	0	16	
借地権	6,450,000	0	0	6,450,000	—	—	—	0	6,450,000	
ソフトウェア	38,397,389,512	6,013,276,607	2,541,022,819	41,869,643,300	23,880,632,109	7,689,630,561	81,942,267	0	17,907,068,924	
電話加入権	205,710,270	144,000	0	205,854,270	—	—	3,999,944	1,583,978	201,854,326	
その他無形固定資産	754,903,667	2,960,399	118,165,822	639,698,244	400,962	211,950	0	0	639,297,282	
計	39,364,453,459	6,016,381,012	2,659,188,641	42,721,645,830	23,881,033,071	7,689,842,511	85,942,211	1,583,978	18,754,670,548	
長期定期預金	0	500,000,000	0	500,000,000	—	—	—	—	500,000,000	
長期貸付金	1,208,011,600	966,710,000	464,971,600	1,709,750,000	—	—	—	—	1,709,750,000	
破産更生債権等	2,252,800,545	489,844,625	657,552,572	2,085,092,598	—	—	—	—	2,085,092,598	
貸倒引当金	△2,252,800,545	△224,757,902	△392,465,849	△2,085,092,598	—	—	—	—	△2,085,092,598	
長期前払費用	150,097,189	97,661,353	91,473,061	156,285,481	—	—	—	—	156,285,481	
災害備蓄在庫	136,443,592	11,983,508	16,781,578	131,645,522	—	—	—	—	131,645,522	
その他投資資産	32,000,300	2,935,000	2,164,000	32,771,300	—	—	—	—	32,771,300	
計	1,526,552,681	1,844,376,584	840,476,962	2,530,452,303	—	—	—	—	2,530,452,303	

(注)1. 当期増加額には、87特定資産の指定解除による影響額(建物51,626,636,193円、構築物1,242,009,818円)が含まれております。

2. 当期減少額には、87特定資産の指定解除による影響額(建物51,626,636,193円、構築物1,242,009,818円)が含まれております。

2. たな卸資産の明細 (単位:円)

種 類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘 要
		当期購入・ 製造・振替	引出・振替	その他			
医薬品	3,820,078,291	125,781,362,932	125,165,171,369	2,058,996	4,434,210,858	注	
診療材料	1,642,590,556	72,950,817,128	72,950,983,491	4,591,197	1,637,832,996	注	
給食用材料	155,974,787	10,543,879,831	10,525,892,019	0	173,962,599		
貯蔵品	561,474,766	23,001,127,273	22,925,031,273	0	637,570,766		
計	6,180,118,400	232,277,187,164	231,567,078,152	6,650,193	6,883,577,219		

(注) 当期減少額のうち、低価格による評価損によるものです。

3. 有価証券の明細 (単位:円)

流動資産として計上された有価証券

種 類 及 び 銘 柄	取得価額	券面総額	当期増減		期末残高	摘 要
			貸借対照表計上額	当期費用に含まれた 評価差額		
その他有価証券	38,300,000,000	38,300,000,000	38,300,000,000	0		
譲渡性預金						
貸借対照表計上額 合計	38,300,000,000	38,300,000,000	38,300,000,000	0		

4. 長期貸付金の明細 (単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘 要
			回収額	償却額		
奨学金貸与	1,228,211,600	966,110,000	109,635,000	345,976,600	1,738,710,000	注
計	1,228,211,600	966,110,000	109,635,000	345,976,600	1,738,710,000	

(注) 1. 当期減少額のうち「償却額」は独立行政法人国立病院機構奨学金貸与規程第11条による返還免除額です。
2. 一年以上以内回収長期貸付金(期末残高28,960,000円)を含めております。

5. 長期借入金の明細 (単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	平均利率(%)	返済期限	摘 要
計	457,864,152,088	11,600,000,000	40,020,942,656	429,443,209,432			

6. 引当金の明細 (単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘 要
		目的使用	その他	目的使用	その他		
賞与引当金	24,443,702,829	25,316,550,120	0	24,443,702,829	0	25,316,550,120	
損害補償引当金	883,031,930	871,518,755	0	540,471,914	0	1,214,078,771	
災害損失引当金	559,500,185	0	0	559,500,185	0	0	
計	25,886,234,944	26,188,068,875	0	25,543,674,928	0	26,530,628,891	

7. 貸付金等に対する貸倒引当金の明細

区分	貸付金等の残高		貸倒引当金の残高		摘要
	期首残高	当期増減額	期末残高	当期増減額	
医業未収金	142,808,645,012	2,404,196,834	145,212,841,846	△ 29,953,233	564,911,044
一般債権	142,808,645,012	2,404,196,834	145,212,841,846	△ 29,953,233	564,911,044 注1
未収金	4,095,940,183	1,558,987,076	5,654,927,259	0	0
一般債権	4,095,940,183	1,558,987,076	5,654,927,259	0	0
破産更生債権等	2,252,800,545	△ 167,707,947	2,085,092,598	△ 167,707,947	2,085,092,598
破産更生債権等	2,252,800,545	△ 167,707,947	2,085,092,598	△ 167,707,947	2,085,092,598 注2
計	149,157,385,740	3,795,475,963	152,952,861,703	△ 197,661,180	2,650,003,642

(注)1. 一般債権については、貸倒実績率により、回収不能見込額を計上しております。

2. 破産更生債権等(更生から1年以上経過した医業未収金及び未収金)については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

8. 退職給付引当金の明細

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
退職給付債務合計額	259,469,335,204	18,896,947,192	20,506,330,208	257,859,952,188	
退職一時金に係る債務	133,088,295,249	18,896,947,192	7,928,902,208	144,006,340,233	
整理資産負担金に係る債務	126,431,039,955	0	12,577,428,000	113,853,611,955	
未認識過去勤務債務及び未認識数理計算上の差異	17,005,735,298	342,460,455	2,011,376,343	15,336,819,410	
年金資産	-	-	-	-	
退職給付引当金	276,475,070,502	19,239,407,647	22,517,706,551	273,196,771,598	

9. 資産除去債務の明細

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
労働安全衛生法等に基づく債務	172,191,499	856,902	2,310,000	170,738,401	注
特定放射線障害物の最終処分に関する法律等に基づく債務	235,641,135	5,890,951	15,010,918	226,521,168	注
PCB特別措置法等に基づく債務	14,346,885	0	0	14,346,885	注
計	422,179,519	6,747,853	17,320,918	411,606,454	

(注)資産除去債務に対応する除去費用等については、独立行政法人会計基準第91の特定はされておられません。

10. 資本金及び資本剰余金の明細

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金	208,174,739,674	0	0	208,174,739,674	
資本剰余金	208,174,739,674	0	0	208,174,739,674	
施設費	36,550,210,954	22,240,000	393,277,117	36,179,173,837	注1
補助金等	13,313,455,914	0	0	13,313,455,914	
目的積立金	84,063,699,072	0	0	84,063,699,072	
減資差益	710,893,469	0	0	710,893,469	
損益外除売却差額相当額	△ 2,686,372,731	75,960,488	479,851,628	△ 3,090,263,871	注2
その他	94,753,855,882	0	0	94,753,855,882	
計	226,705,742,560	98,200,488	873,128,745	225,930,814,303	
損益外減価償却累計額	18,306,219,450	496,053,140	15,720,863,622	3,081,408,968	注3
損益外減損損失累計額	715,918,364	0	699,713,333	16,205,031	注3
差引計	207,683,604,746	△ 397,852,652	△ 15,547,448,210	222,833,200,304	

(注)1. 当期減少額は、施設整備費補助金の返還によるものです。

2. 当期増加額及び当期減少額は、国から承継した資産(土地)の売却によるものです。

3. 当期減少額の主なもの、87特定資産の指定解除によるものです。

11. 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細
 (1) 運営費交付金債務の増減の明細

交付年度	期首残高	交付金当期交付額	当期振替額			期末残高
			運営費交付金収益	資産見返運営費交付金	資本剰余金	
平成24年度	183,800,000	—	183,800,000	0	0	183,800,000
平成25年度	—	22,958,284,000	22,834,109,761	124,174,239	0	22,958,284,000
計	183,800,000	22,958,284,000	23,017,909,761	124,174,239	0	23,142,084,000

(2) 運営費交付金債務の当期振替額の明細
 平成24年度交付分

区分	金額	内訳		(単位:円)
		認識	取	
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	183,800,000	1. 業務達成基準を採用した業務: 診療業務、教育研修業務、臨床研究業務、臨床研究業務、その他	0
	資産見返運営費交付金	0	2. 当該業務に関する損益等 (1) 損益計算書に計上した費用の額: 183,800,000円 (診療業務: 0円、教育研修業務: 0円、臨床研究業務: 0円、その他(再編成経費): 183,800,000円)	
	資本剰余金	0	(2) 固定資産の取得額: 0円 (診療業務: 0円、教育研修業務: 0円、臨床研究業務: 0円、その他: 0円)	
	計	183,800,000	3. 運営費交付金収益化額の積算根拠 年度計画の予定どおりに遂行した業務について、各業務に当てられる運営費交付金の計画額を収益化	
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	0	— (期間進行基準を採用した業務は無い)	0
	資産見返運営費交付金	0		
	資本剰余金	0		
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	0	— (費用進行基準を採用した業務は無い)	0
	資産見返運営費交付金	0		
	資本剰余金	0		
会計基準第81第3項による振替額	合計	183,800,000		0

(単位:円)

平成25年度交付分

区分	内訳	金額
業務達成基準 による振替額	運営費交付金収益	22,834,109,761
	資産見返運営費交付金	124,174,239
	資本剰余金	0
	計	22,958,284,000
期間進行基準 による振替額	運営費交付金収益	0
	資産見返運営費交付金	0
	資本剰余金	0
	計	0
費用進行基準 による振替額	運営費交付金収益	0
	資産見返運営費交付金	0
	資本剰余金	0
	計	0
会計基準第81第3項による振替額		0
合計		22,958,284,000
	1. 業務達成基準を採用した業務: 診療業務、教育研修業務、臨床研究業務、臨床研究業務、その他	
	2. 当該業務に関する損益等 (1) 損益計算書に計上した費用の額: 22,834,109,761円 (診療業務: 0円、教育研修業務: 635,868,570円、臨床研究業務: 2,940,643,838円、その他(退職給付費用等): 19,257,597,353円) (2) 固定資産の取得額: 124,174,239円 (診療業務: 0円、教育研修業務: 0円、臨床研究業務: 124,174,239円、その他: 0円)	
	3. 運営費交付金収益化額の積算根拠 年度計画の予定どおりに遂行した業務について、各業務に当てられる運営費交付金の計画額を収益化	
	- (期間進行基準を採用した業務は無い)	
	- (費用進行基準を採用した業務は無い)	

12. 運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細
補助金等の明細

(単位:円)

区分	当期待付額	左の会計処理内訳				摘要
		建設仮勘定補助金等	資産見返補助金等	資本剰余金	収益計上	
心神喪失者等医療観察法指定入院医療機関医療評価・向上事業費補助金	3,222,000	0	0	0	3,222,000	
心神喪失者等医療観察法指定入院医療機関運営費負担金	101,599,851	0	0	0	101,599,851	
疾病予防対策事業費等補助金(感染症対策特別促進事業費)	24,908,000	0	0	0	24,908,000	
疾病予防対策事業費等補助金(がん診療連携拠点病院機能強化事業費)	493,213,000	0	0	0	493,213,000	
医療施設運営費等補助金(災害医療調査ヘリコプター運営事業)	6,291,000	0	0	0	6,291,000	
医療施設運営費等補助金(救急医療トレーニングセンター運営事業)	50,111,000	0	17,983,875	0	32,127,125	
医療施設運営費等補助金(DMAT事務局事業)	58,939,000	0	1,304,847	0	57,634,153	
医療施設等設備整備補助金	513,553,000	0	255,471,930	0	258,081,070	
精神保健福祉人材養成等事業委託費補助金	6,114,000	0	0	0	6,114,000	
子一入医療実証事業委託費補助金	7,486,000	0	0	0	7,486,000	
保健衛生施設等施設・設備整備費補助金	22,030,000	0	21,142,000	0	888,000	
[北海道外46都府県]新人看護職員研修事業補助金	68,407,000	0	379,000	0	68,028,000	
[北海道外29都府県]救急勤務医支援対策事業補助金	206,029,800	0	160,967,717	0	45,062,083	
[北海道外15府県]がん診療施設・設備整備費補助金	209,488,200	0	198,541,000	0	10,947,200	
[北海道外20県]地域医療再生基金事業費補助金	2,005,931,507	0	1,646,129,186	0	359,802,321	
[青森県外9県]専門看護師・認定看護師養成事業費補助金	15,351,000	0	546,000	0	14,805,000	
[青森県外26都府県]産科医等確保支援事業費補助金	43,153,000	0	0	0	43,153,000	
[青森県外14都府県]医療施設等設備整備費補助金	825,170,498	0	739,139,532	0	86,030,966	
[宮城県外1県]外国人看護師候補者就労研修支援事業補助金	1,094,000	0	0	0	1,094,000	
[宮城県外2県]看護師養成・確保支援事業補助金	4,444,237	0	323,698	0	4,120,539	
[宮城県外3県]患者コープ・ナイター事業補助金	15,756,618	0	0	0	15,756,618	
[宮城県外4県]医師看護師等宿舎施設整備補助金	125,774,000	0	110,088,773	0	15,685,227	
[福島県]地域医療復興事業補助金	434,000	0	0	0	434,000	
[茨城県外5府県]受入困難事業患者受入医療機関支援事業補助金	13,376,000	0	0	0	13,376,000	
[栃木県]地域医療に係る県民協働事業補助金	400,000	0	0	0	400,000	
[栃木県外2県]病院内保育所施設整備費補助金	5,106,000	0	1,543,274	0	3,562,726	
[栃木県外3県]感染症指定医療機関運営費等補助金	21,138,625	0	0	0	21,138,625	
[栃木県外12県]小児・周産期医療提供体制推進事業費補助金	106,251,694	0	36,972,970	0	69,278,724	
[栃木県外5県]地域診療情報連携推進費補助金	229,662,000	0	215,926,000	0	13,736,000	
[群馬県外3府県]新型インフルエンザ患者受入医療機関設備整備事業費補助金	5,108,240	0	3,316,240	0	1,792,000	
[群馬県外2県]医師支援確保対策事業補助金	5,213,000	0	0	0	5,213,000	
[群馬県外2県]障害者自立支援基盤整備事業補助金	12,737,000	0	7,228,500	0	5,508,500	
[埼玉県外6県]女性医師等就労環境改善対策事業補助金	11,316,000	0	0	0	11,316,000	
[千葉県]在宅移行児童一時支援事業補助金	2,198,000	0	0	0	2,198,000	
[東京都外2府県]在宅療養あんしん病院支援事業補助金	3,234,000	0	0	0	3,234,000	
[富山県外1府]認知症疾患医療センター運営事業費補助金	13,838,000	0	0	0	13,838,000	
[石川県外3府県]防災訓練等参加支援事業費補助金	538,000	0	0	0	538,000	
[石川県]学会等開催助成金	4,950,000	0	0	0	4,950,000	
[石川県外3府県]地域医療機関連携促進事業費補助金	77,386,986	0	72,925,381	0	4,461,605	
[福井県外1県]病院群輪番制病院運営事業補助金	5,940,000	0	4,970,000	0	970,000	
[長野県外1県]自殺対策緊急強化事業補助金	438,567	0	0	0	438,567	
[静岡県外4府県]救急医療充実確保事業費補助金	14,172,000	0	0	0	14,172,000	
[三重県外2県]研修環境・整備費補助金	162,698,000	0	117,769,210	0	44,908,790	

(単位:円)

区分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘要
		建設仮勘定補助金等	資産見返補助金等	資本剰余金	収益計上	
[京都府]医師派遣推進事業費補助金	1,169,000	0	0	0	0	1,169,000
[兵庫県外1県]メテオカクラー育成支援事業費補助金	1,357,000	0	0	0	0	1,357,000
[広島県]マンモグラフィ検診機器整備事業費補助金	20,000,000	0	20,000,000	0	0	0
[広島県外1県]感染症指定医療機関施設・設備整備事業補助金	6,594,000	0	880,000	0	0	5,714,000
[香川県]臨床研修担当事務職員配置支援事業補助金	913,000	0	0	0	0	913,000
[熊本県]日中一時支援事業費補助金	200,000	0	0	0	0	200,000
[熊本県]へり救急搬送体制整備(医療器機等)事業費補助金	11,169,000	0	9,380,000	0	0	1,789,000
[宮崎県]医師スキルアップ支援補助金	37,000	0	0	0	0	37,000
[札幌市外3市]健康診断事業費補助金	200,918	0	0	0	0	200,918
[函館市外10市]病院群輪番制病院運営事業補助金	83,768,268	0	9,126,000	0	0	74,642,268
[宇都宮市外3市]救急医療体制運営費補助金	37,007,440	0	4,546,000	0	0	32,461,440
[宇都宮市外6市]小児救急医療支援事業補助金	80,024,931	0	0	0	0	80,024,931
[高崎市]高崎医療センター医療機器整備等補助金	2,280,031	0	0	0	0	2,280,031
[高崎市]ドクターカー運行支援事業(人件費)補助金	12,686,000	0	5,344,500	0	0	7,341,500
[千葉市外4市]保育環境整備助成金	12,763,695	0	3,765,210	0	0	8,998,485
[横浜市]周産期救急連携病院事業	2,000,000	0	0	0	0	2,000,000
[横浜市]新型インフルエンザ対策補助金	2,857,890	0	1,575,000	0	0	1,282,890
[横浜市内2市]救急医療第2次病院補助病院補助金	24,853,541	0	0	0	0	24,853,541
[金沢市]学会等開催補助金	2,470,000	0	0	0	0	2,470,000
[小諸市]小諸市松くい虫被害防除特殊伐採補助金	100,000	0	0	0	0	100,000
[横浜市内2市]災害医療推進事業費補助金	19,611,000	0	18,172,000	0	0	1,439,000
[東松江市]東近江救急隊専用回線補助事業	28,380	0	0	0	0	28,380
[鳥取市]看護職員実習指導者養成支援事業補助金	543,000	0	0	0	0	543,000
[浜田市]浜田医療センターへりポート整備支援事業補助金	35,000,000	0	33,831,136	0	0	1,168,864
[下関市外1市]産科医師等確保支援事業補助金	2,832,000	0	0	0	0	2,832,000
計	5,936,571,513	0	3,725,958,979	0	0	2,210,612,534

13. 役員及び職員の給与の明細

(単位:円、人)

区分	報酬又は給与		退職手当	
	支給額	支給人員	支給額	支給人員
役員	(4,320,000)	(3)	(0)	(0)
	78,607,580	5	3,096,225	1
職員	(30,763,402,157)	(13,070)	(0)	(0)
	352,611,092,781	56,386	19,691,397,179	4,923
合計	(30,767,722,157)	(13,073)	(0)	(0)
	352,689,700,361	56,391	19,694,493,404	4,924

(注) 1. 役員に対する報酬等の支給基準は、独立行政法人国立病院機構役員報酬規程及び独立行政法人国立病院機構役員退職手当規程によっております。

2. 職員に対する給与等の支給基準は、独立行政法人国立病院機構職員給与規程、独立行政法人国立病院機構院長給与規程、独立行政法人国立病院機構非常勤職員給与規程、独立行政法人国立病院機構及び歯科医師給与規程、独立行政法人国立病院機構本部職員給与規程及び独立行政法人国立病院機構本部非常勤特定専門職員給与規程によっております。

3. 支給人員数は、年間平均支給人員数を記載しております。

4. 非常勤の役員及び職員は、外数として()で記載しております。

5. 中期計画においては、法定福利費等を含めて予算上の人件費としておりますが、上記明細には法定福利費等は含まれておりません。

14. 開示すべきセグメント情報

		(単位:円)					
		診療事業	教育研修事業	臨床研究事業	計	法人共通	合計
事業収益							
医業収益		878,062,598,200	—	—	878,062,598,200	—	878,062,598,200
看護師等養成所収益		—	4,299,510,828	—	4,299,510,828	—	4,299,510,828
研究収益		—	120,738,712	—	120,738,712	—	120,738,712
運営費交付金収益		505,833,031	635,868,570	6,761,665,142	6,761,665,142	—	6,761,665,142
補助金等収益		3,391,287,153	38,298,940	268,068,357	3,697,654,450	19,441,397,353	23,762,599,869
寄附金収益		255,878,374	388,330	439,442,409	695,709,113	10,352,507	3,708,006,957
資産見返物品受贈額戻入		2,095,280	0	0	2,095,280	0	2,095,280
財務収益		0	0	0	0	157,633,891	157,633,891
その他		5,202,767,865	22,865,969	29,561,497	5,255,195,331	3,184,398,883	8,439,594,214
事業収益計		887,420,459,903	5,117,671,349	10,678,238,320	903,216,369,572	22,826,582,634	926,042,952,206
事業費用							
業務費		835,656,936,368	7,830,256,829	12,398,106,933	855,885,300,130	—	855,885,300,130
一般管理費		—	—	—	—	27,801,878,773	27,801,878,773
財務費用		0	0	0	0	8,222,888,936	8,222,888,936
その他		—	—	—	—	2,453,030,758	2,453,030,758
事業費用計		835,656,936,368	7,830,256,829	12,398,106,933	855,885,300,130	38,477,798,467	894,363,098,597
事業損益(△損失)		51,763,523,535	△ 2,712,585,480	△ 1,719,868,613	47,331,069,442	△ 15,651,215,833	31,679,853,609
総資産		1,141,547,814,208	29,862,632,840	5,437,578,973	1,176,848,026,021	143,213,255,856	1,320,061,281,877
(主要資産内訳)							
流動資産							
現金及び預金		0	0	0	0	94,388,505,601	94,388,505,601
医業未収金		145,212,841,846	0	0	145,212,841,846	0	145,212,841,846
固定資産							
有形固定資産		967,626,696,139	29,812,233,265	4,682,814,654	1,002,121,744,058	6,251,425,605	1,008,373,169,663

(注)1. セグメントの区分については、独立行政法人国立病院機構法に定められている業務内容に基づき、「診療事業」、「教育研修事業」及び「臨床研究事業」に区分しております。

2. 事業の内容

- 「診療事業」: 安心で安全な質の高い医療や政策医療を提供するための事業
- 「教育研修事業」: 質の高い医療従事者(医師、看護師等)を養成・育成するための事業
- 「臨床研究事業」: 医療の質の向上に貢献するための研究、治験等の事業

3. 事業収益のうち法人共通は、各セグメントに配賦不能な収益であり、その主なものは、国助務期間分の退職給付債務等に係る運営費交付金収益(19,441,397,353円)です。

4. 事業費用のうち法人共通は、各セグメントに配賦不能な費用であり、その主なものは、管理部門に係る費用(27,801,878,773円)です。

5. 総資産のうち法人共通は、各セグメントに配賦しなかった資産であり、その主なものは、現金及び預金(94,388,505,601円)、管理部門が管理する土地(5,106,055,043円)、管理部門に係る建物(1,047,750,700円)です。

6. 損益外減価償却相当額、損益外減損損失相当額及び損益外売却差額相当額の各セグメントの金額は、以下のとおりです。

		(単位:円)					
		診療事業	教育研修事業	臨床研究事業	計	法人共通	合計
損益外減価償却相当額		496,053,140	0	0	496,053,140	0	496,053,140
損益外減損損失相当額		0	0	0	0	0	0
損益外売却差額相当額		354,831,005	13	0	354,831,018	△ 24,733,563	330,097,455

15. 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

該当事項はありません。

決算報告書

決算報告書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
収入				
運営費交付金	22,958,284,000	22,958,284,000	0	
施設整備費補助金	0	146,396,450	146,396,450	工事の進捗の遅れにより概算払から精算払へ変更になったことによる
長期借入金等	34,086,228,000	11,600,000,000	△ 22,486,228,000	内部資金を活用し借入金を抑制したことによる
業務収入	896,613,919,034	900,180,856,922	3,566,937,888	平均在院日数の短縮による上位施設基準を取得したこと等による
その他収入	40,138,330,000	98,953,948,104	58,815,618,104	資金運用の戻入を行ったことによる
計	993,796,761,034	1,033,839,485,476	40,042,724,442	
支出				
業務経費	820,687,106,960	826,931,811,737	6,244,704,777	
診療業務経費	745,611,198,797	751,339,184,514	5,727,985,717	医薬品費等の材料費が計画より増加したこと等による
教育研修業務経費	6,515,339,885	6,311,303,944	△ 204,035,941	経費を計画より削減したこと等による
臨床研究業務経費	11,386,839,458	11,349,967,827	△ 36,871,631	経費を計画より削減したこと等による
その他の経費	57,173,728,820	57,931,355,452	757,626,632	水道光熱費等の経費が計画より増加したこと等による
施設整備費	112,257,968,000	99,898,928,698	△ 12,359,039,302	契約コストの削減及び工事の進捗の遅れ等により、整備費の年度内の支払額が計画より減少したことによる
借入金償還	41,390,943,000	40,020,942,656	△ 1,370,000,344	借入の減による
支払利息	8,262,522,296	8,064,521,251	△ 198,001,045	借入の減による
その他支出	9,012,322,000	33,972,479,975	24,960,157,975	資金運用の預入による
計	991,610,862,256	1,008,888,684,317	17,277,822,061	

(注) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

(1) 損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

- ① 診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」
- ② 教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」
- ③ 臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」
- ④ その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舍貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

(2) 損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

(3) 損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。

監事の意見

監査報告書

独立行政法人国立病院機構
理事長 桐野高明 殿

私たち監事は、独立行政法人通則法第19条第4項及び第38条第2項の規定に基づき、独立行政法人国立病院機構の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第10期事業年度の業務及び会計について監査を行いました。その結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監事の監査の方法及びその内容

各監事は、独立行政法人国立病院機構監事監査規程に従い、理事、内部監査部門、その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、役員会その他重要な会議に出席するほか、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書について検討いたしました。

さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から職務の遂行を適正に行うための体制について、監査に関する品質管理基準等に従って整備している旨の報告を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、利益の処分に関する書類（案）、行政サービス実施コスト計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細書）並びに決算報告書について検討を加えました。

また、理事と法人間の利益相反取引、理事の法人業務以外の金銭上の利益を目的とする業務の実施、重要な財産の取得、処分及び管理、法令違反行為並びに業務上の事故等に関しては、上記の監査の方法のほか、必要に応じて理事等から報告を求め、当該事項の状況を詳細に調査いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告書の監査結果

- 一 事業報告書は、法令等に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の業務遂行に関しては、不正の行為または法令等に違反する重大な事実はありません。

なお、理事と法人間の利益相反取引、理事の法人業務以外の金銭上の利益を目的とする業務の実施、重要な財産の取得、処分及び管理、法令違反行為並びに業務上の事故等についても理事の義務違反は認められません。

(2) 財務諸表及び決算報告書の監査結果

- 一 会計監査人 新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。
- 二 財務諸表（利益の処分に関する書類（案）を除く。）は、法人の財政状態並びに運営状況、キャッシュ・フローの状況及び行政サービス実施コストの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。
- 三 利益の処分に関する書類（案）は、法令に適合しているものと認めます。
- 四 決算報告書は、予算の区分に従って決算の状況を正しく示しているものと認めます。

平成26年6月11日

独立行政法人国立病院機構

監事 柴田 一 眞 

監事 小野 高史 

会計監査人の意見

独立監査人の監査報告書

平成26年6月11日

独立行政法人 国立病院機構

理事長 桐野高明 殿

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

荒尾泰則



指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

樋通澤克彦



指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

近藤若明



指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

田中友康



<財務諸表監査>

当監査法人は、独立行政法人通則法（以下「通則法」という。）第39条の規定に基づき、独立行政法人国立病院機構の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第10期事業年度の利益の処分に関する書類（案）を除く財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コスト計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細書について監査を行った。

財務諸表に対する独立行政法人の長の責任

独立行政法人の長の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の会計の基準に準拠して財務諸表（利益の処分に関する書類（案）を除く。以下同じ。）を作成し適正に表示することにある。これには、不正及び誤謬並びに違法行為による重要な虚偽の表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために独立行政法人の長が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

会計監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の監査の基準に準拠して監査を行った。この監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。監査は、独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為が財務諸表に重要な虚偽の表示をもたらす要因となる場合があることに十分留意して計画される。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正及び誤謬並びに違法行為による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、独立行政法人の長が採用した会計方針及びその適用方法並びに独立行政法人の長によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。この基礎には、当監査法人が監査を実施した範囲においては、財務諸表に重要な虚偽の表示をもたらす独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為の存在は認められなかったとの事実を含んでいる。なお、当監査法人が実施した監査は、財務諸表の重要な虚偽の表示の要因とならない独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為の有無について意見を述べるものではない。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の会計の基準に準拠して、独立行政法人国立病院機構の財政状態、運営状況、キャッシュ・フローの状況及び行政サービス実施コストの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

強調事項

重要な会計方針に記載されているとおり、特定の償却資産（独立行政法人会計基準87）について、「「独立行政法人国立病院機構の業務運営並びに財務及び会計に関する省令第9条に基づき厚生労働大臣が指定する償却資産について」（平成16年4月1日付厚生労働省発医政第0401014号厚生労働大臣通知）の改正について」（平成26年3月18日厚生労働省発医政0318第2号）及び「「独立行政法人国立病院機構の業務運営並びに財務及び会計に関する省令第9条に基づき厚生労働大臣が指定する償却資産について」（平成16年10月12日厚生労働省発医政第1012008号厚生労働大臣通知）の一部改正について」（平成26年3月18日厚生労働省発医政0318第3号）により、当該資産の対象範囲が見直され、従来資本剰余金から控除していた損益外減価償却累計額及び損益外減損損失累計額のうち指定解除を受けた資産にかかる前年度末の損益外減価償却累計額及び損益外減損損失累計額を当年度において臨時損失として計上している。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

<通則法が要求する利益の処分に関する書類（案）及び決算報告書に対する意見>

当監査法人は、通則法第39条の規定に基づき、独立行政法人国立病院機構の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第10期事業年度の利益の処分に関する書類（案）及び決算報告書について監査を行った。

利益の処分に関する書類（案）及び決算報告書に対する独立行政法人の長の責任

独立行政法人の長の責任は、法令に適合した利益の処分に関する書類（案）を作成すること及び予算の区分に従って決算の状況を正しく示す決算報告書を作成することにある。

会計監査人の責任

当監査法人の責任は、利益の処分に関する書類（案）が法令に適合して作成されているか及び決算報告書が予算の区分に従って決算の状況を正しく示しているかについて、独立の立場から意見を表明することにある。

通則法が要求する利益の処分に関する書類（案）及び決算報告書に対する監査意見

当監査法人の監査意見は次のとおりである。

(1) 利益の処分に関する書類（案）は、法令に適合しているものと認める。

(2) 決算報告書は、独立行政法人の長による予算の区分に従って決算の状況を正しく示しているものと認める。

<事業報告書に対する報告>

当監査法人は、通則法第39条の規定に基づき、独立行政法人国立病院機構の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第10期事業年度の事業報告書（会計に関する部分に限る。）について監査を行った。なお、事業報告書について監査の対象とした会計に関する部分は、事業報告書に記載されている事項のうち会計帳簿の記録に基づく記載部分である。

事業報告書に対する報告

当監査法人は、事業報告書（会計に関する部分に限る。）が独立行政法人国立病院機構の財政状態及び運営状況を正しく示しているものと認める。

利害関係

独立行政法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上